

ASEAN諸国の官僚制

岩崎育夫・萩原宜之編

アジア経済研究所



10688729

ASEAN諸国の官僚制

岩崎育夫・萩原宜之編

アジア経済研究所

か のう ひろ よし
加納 啓良(東京大学東洋文化研究所教授)

はぎ わら よし ゆき
萩原 宜之(独協大学教授)

かわ なか たけし
川中 豪(アジア経済研究所動向分析部)

いわ さき いく お
岩崎 育夫(アジア経済研究所動向分析部主任調査研究員)

むら しま えい じ
村嶋 英治(成蹊大学教授)

ふじ わら き いち
藤原 帰一(東京大学社会科学研究所助教授)

こ ばやし まさ や
小林 正弥(千葉大学助教授)

一執筆順一

ASEAN 諸国の官僚制

研究双書460

1996年3月13日発行©

編者 岩崎育夫・萩原宜之

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 メディカ・ピーシー

ISBN4-258-04460-1 C3031



7
3233
A1001

研究双書 No.460

岩崎育夫・萩原宜之編『ASEAN 諸国の官僚制』

ASEAN-Shokoku no Kanryōsei
(The Bureaucracy in ASEAN Countries)

Edited by

Ikuo IWASAKI, Yoshiyuki HAGIWARA

Contents

Part I : Country Studies

Chapter 1 The Bureaucracy in Indonesia
(Hiroyoshi KANO)

Chapter 2 The Bureaucracy in Malaysia
(Yoshiyuki HAGIWARA)

Chapter 3 The Bureaucracy in the Philippines
(Takeshi KAWANAKA)

Chapter 4 The Bureaucracy in Singapore
(Ikuo IWASAKI)

Chapter 5 The Bureaucracy in Thailand
(Eiji MURASHIMA)

Part II : Theoretical Studies

Chapter 6 Bureaucrats and Development : The Search for Political Conditions of
Economic Growth
(Kiichi FUJIWARA)

Chapter 7 A Concept of Neo-Patrimonialism and ASEAN Countries : Another Meaning
and Limits of the Weber Model
(Masaya KOBAYASHI)

Chapter 8 A Reflection on the Bureaucracy in ASEAN Countries
(Ikuo IWASAKI)



[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 460]

Published by **the Institute of Developing Economies**, 1996
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

目 次

はしがき

第 I 部 国別編

第 1 章 インドネシアの官僚制

——公務員制度を中心に——	加納啓良 … 5
はじめに ……………	5
第 1 節 ジャワ王朝の官僚制 ……………	5
第 2 節 オランダ植民地時代の官僚制 ……………	9
第 3 節 独立後の変化 ……………	14
第 4 節 現代インドネシアの官僚制 ……………	15
1. 政府行政機構の構成 ……………	16
2. 中央省庁の構成 ……………	17
3. 地方・村落行政 ……………	22
4. 公務員制度 ……………	24
第 5 節 軍人の民政関与 ……………	36
第 6 節 国家公務員数の統計 ……………	37
おわりに ……………	41

第 2 章 マレーシアの官僚制—————— 萩原宜之 … 47

はじめに ……………	47
第 1 節 王朝支配下の貴族官僚制 ……………	48
第 2 節 イギリス植民地支配下の官僚制 ……………	49

第3節	マラヤ連邦の独立とマラヤ人化	53
第4節	ラーマン=ラザク体制と経済開発	55
第5節	マレーシアの結成と開発行政	59
第6節	ブミプトラ政策と官僚制	64
第7節	マハティール政権と官僚制	67
	おわりに	73
第3章	フィリピンの官僚制	79
	はじめに	79
第1節	官僚制の形成	81
	1. スペイン統治期——教会と政府の二重統治構造——	81
	2. アメリカ統治期——近代的官僚制の導入——	82
	3. 戦後・独立～戒厳令布告（1972年）	
	——フィリピン官僚制の確立——	84
	4. 戒厳令体制～二月革命（1986年）	
	——「開発」の登場と破綻——	85
第2節	組織と制度	88
	1. 行政組織	88
	2. 人事制度	91
第3節	官僚の構成と特徴	94
	1. 人員規模	94
	2. 人員構成	97
	3. 給与と社会経済的地位	103
	4. 負の特徴	106
第4節	政治と官僚	107
	1. フィリピン政治の諸アクター	108
	2. 官僚と政策	110
	おわりに	115

第4章 シンガポールの官僚制	岩崎育夫	121
はじめに		121
第1節 官僚制の形成と制度		122
1. 歴史的形成過程		122
2. 制度と組織		126
第2節 官僚の任用と行動		132
1. 人事委員会と調達原理		132
2. エリート官僚の調達方法		
—政府奨学金と海外留学制度—		134
3. 行動の問題		138
第3節 官僚と政治・経済		142
1. 人民行動党との一体化要因		142
2. 政権党の人的資源供給源—ヒトの結合—		143
3. 官僚による統治・管理の実態		
—地域社会振興省の事例—		146
4. 開発とエリート官僚		149
第4節 行政国家, 開発, 官僚		151
1. シンガポール「行政国家論」の再検討		151
2. 開発体制と官僚		154
おわりに		156
第5章 タイの官僚制		
—競争試験制度を中心として—	村嶋英治	163
はじめに		163
第1節 ワチラーウット王の『公務の基本』		166
第2節 文官規則法の制定		170
第3節 1934年文官規則法以後		181

おわりに	187
------------	-----

第Ⅱ部 テーマ編

第6章 官僚と開発

——経済発展の政治的条件について——	藤原帰一	195
はじめに——強い国家・弱い国家——		195
第1節 強い国家と強い経済		198
第2節 国家の経済的機能——財政金融と産業政策——		201
第3節 官僚制の歴史的起源——植民地国家と官僚国家——		207
第4節 冷戦下の国家形成		211
むすび		217

第7章 新家産制論とASEAN諸国

——ウェーバー・モデルの意義と限界——	小林正弥	225
序——古典的家産制論——		225
第1節 家産制論の再生		227
1. 比較行政運動の限界		227
2. 概念の復興		229
3. 新家産制論		231
第2節 概念の有意性		242
1. ASEAN諸国への適用例		242
2. 考察と展望		249
結語		260

第8章 ASEAN諸国の官僚制試論

——	岩崎育夫	269
はじめに		269
第1節 ASEAN諸国における官僚制の生成		271

1. 官僚制の定義と対象	271
2. 歴史的形成過程	273
第2節 官僚制の構造と任務・機能をめぐる問題	276
1. 組織と政治体制	277
2. 公的部門の経済規模	278
3. 任用原理	280
4. 任務	281
5. 忠誠と倫理	283
第3節 官僚制と政治・経済	285
1. 政治と官僚——権力パートナーとしての官僚——	286
2. 経済と官僚——開発行政——	289
第4節 現代ASEAN国家と官僚制	292
1. 官僚制任務の変容——官僚の政治化——	292
2. 行政国家化への動き	293
3. 既存の官僚制類型の再検討	294
4. ASEAN諸国の官僚制モデル——「二重構造」——	297
おわりに	300